



猫ちゃんの泌尿器疾患が多い季節は？

■ 猫の膀胱炎の請求件数の月次推移

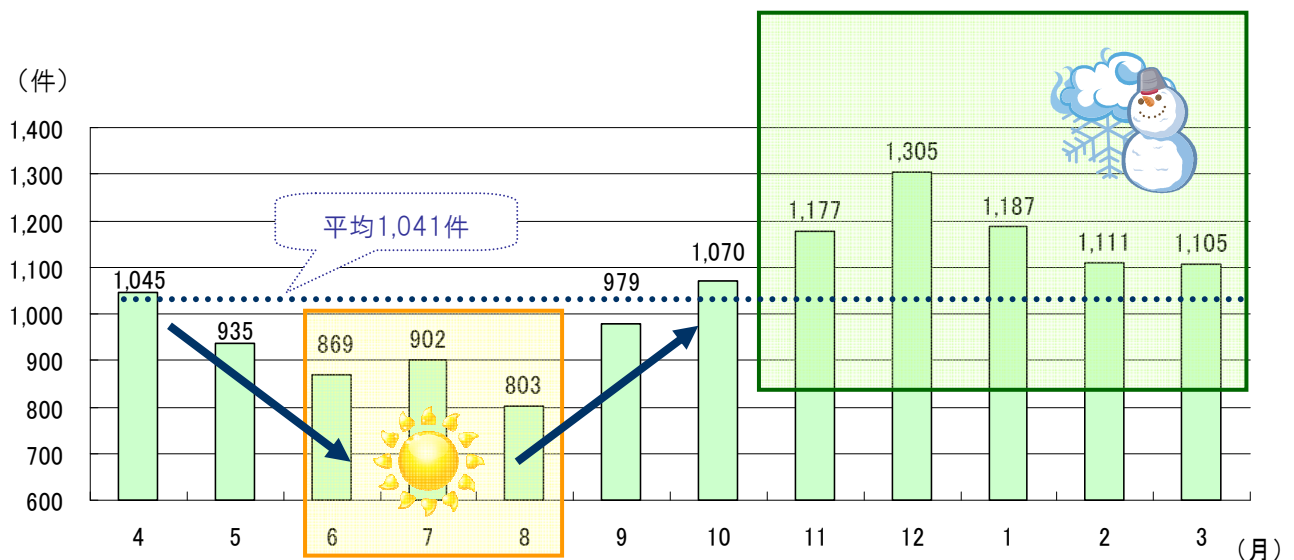
猫の0～10歳の契約を対象として、給付金請求データをもとに発症率の高い疾患(大分類)を調査したところ、猫で最も高い発症率を示したのは泌尿器疾患であった(アニコム家庭どうぶつコラムvol.6)。そこで、その泌尿器疾患の中で、多くを占めるとされる**膀胱炎※**について、請求件数を月次で調査し、季節性を確認した。6～8月の暖かい季節は、900件前後であったが、その後増加し、**12月が一番多く1300件を越えていた。泌尿器疾患は、寒い時期に特に増加することが明らかとなった。**

※「膀胱炎」を併発している可能性の高い「尿石症」「膀胱結石」「FLUTD(猫下部尿路疾患)」も合算し、膀胱炎とした。

1)2004年4月1日から2008年3月31日までにアニコムクラブの共済制度に加入したどうぶつのうち、契約期間が1年間で、契約満了または死亡解約となった猫の男の子35,808頭、猫の女の子31,100頭を対象に調査。

2)「膀胱炎」「尿石症」「膀胱結石」「FLUTD(猫下部尿路疾患)」での請求を、2004年から2008年までの4年間それぞれにおいて診療開始日を含む月別に集計し、該当月の件数とした。同じ個体が複数回請求した場合は、複数回としてカウントしている。

【図】猫の膀胱炎(※)の請求件数の月次推移



猫ちゃんの膀胱炎は、特に
寒い季節に多い。

飲み水を少しあたためる・水のみ場を増やすなど、
お水をたくさん飲んでもらう対策がおすすめです。

